

## Giving／卒業生の皆様からのご支援 A Message from the Head of EALC, Karen Kelsky

EALC 学科長カレン・ケルスキーからのメッセージ：

EALC では卒業生の皆様からのご寄付を受付けています。我々のニュースレター (<http://www.ealc.uiuc.edu/ealc/alumni/newsletter.htm>) をご覧になった方はご存知かと思いますが、EALC は過去2年に急速な成長を遂げています。わずか1年で日本語の履修は35%、中国語の履修は60%の伸びを示しました。また、4人の新しい教授陣を迎え、エキサイティングな新コース、学術的な講演、演劇、キャリア・ワークショップ、さらに教育から映画まで幅色いテーマに沿ったリーディング・グループを開催するなど、活発な活動を続けています。

このEALCの活力は世界における東アジアの経済力、政治力の弛みない発展を反映しています。しかしながら、高等教育に対する国の支援は縮小傾向にあります。卒業生の皆様はご存知のことと思いますが、東アジアがアメリカの主導者や大学の運営者から常に正しい理解を得られてきたとは言えません。このような状況下で、東アジア研究を21世紀における大学の使命の中心に据える役割を担うのは、日本、中国、韓国の言語、文化を学び、そこに暮らした我々です。アジアが何たるか、アジアに関わるコミュニティに何が出来るかを示すことで教育者たちを教育することが重要だと私は考えます。

皆様からのご寄付は以下のような目的に使われます：

### A new Ph.D. track in East Asian Media Cultures

#### 東アジアメディアカルチャー、Ph.D.コースの設置

このPh.D.コースでは、数々の賞を受賞し、ベストセラーを世に送り出しているアジア映画産業の研究、また、アメリカーアジア間のアニメや漫画、その他文化メディアの交流の研究に焦点を当てます。寄付金は東アジアメディアカルチャーの教員や大学院生へのフェローシップに使われます。

### Professional Chinese and Professional Japanese tracks

#### ビジネス日本語・中国語の設置

アメリカ人が日本と中国の言語、文化を学ぶことは、太平洋を越えた貿易とビジネスを促進するために不可欠と言えるでしょう。私たちの目標は、すでに全国トップクラスのイリノイ大学のビジネス、法律、エンジニアリングのプログラムと日本語と中国語のプログラムを連携させることにあります。

### Named Graduate Research and Writing Fellowships

#### 院生の研究と論文執筆に対するフェローシップ

我々は大学院生に対し、一学期ないし一年間TAの仕事を免除し、博士論文の研究、執筆に集中出来る環境を整えることを目指しています。研究に集中できる時間を与えることは、彼らが大学院での研究を成功させ、学術的なキャリアをスタートするために非常に有意義なことです。このフェローシップには、スポンサーになられた方の名前が付けられます。

### EALCの学舎

現在、EALCはForeign Language Buildingの中にありますが、学部の急速な拡充に伴い、手狭な状態が続いています。FLB内の他の学部はこれほどの成長をしていません。

アメリカや学内における東アジアの影響力に歩調を合わせていくためには、ゆくゆくはEACLの学舎が必要になるでしょう。

EALC支援に関する、卒業生の皆様のアイデアを歓迎しています。お気軽にお電話、Eメールでご連絡ください。皆様からのご支援はEALCのさらなる発展へとつながります。ご協力お願いいたします。

—